

南海トラフ巨大地震に備えて、道路啓開訓練を実施しました！

【訓練日時】 令和3年10月21日(木) 【訓練場所】 多治見運動公園星ヶ台運動広場 【参加人数】 238名(星ヶ台保育園児ほか見学者含む)
 【参加機関】 多治見砂防国道事務所、多治見土木事務所、多治見警察署、多治見市消防本部、中電パワーグリッド(株)多治見営業所、(一社)東濃・木曽防災対策協議会、(一社)多治見建設業協会、星ヶ台保育園

道路啓開とは、「大規模災害発生時に、被災地への救援ルートを確保する」ことであり、具体的には、放置車両やがれき等路上障害物を路肩等に移動させたり、路面段差を土嚢等で応急対応することで、警察・消防・自衛隊・医療機関・電気・ガス・建設機械等の緊急通行車両が通行可能となるようにするものです。本訓練をとおりて道路管理者同士の連携強化、災害対策基本法に基づく車両の強制移動に必要な手順確認及び課題抽出を図ることで、迅速な現地作業に繋がっていきます。

本訓練の概要



「シェイクアウト訓練」

「倒壊電柱排除訓練」

「人命救助」

「道路啓開」

「路上放置車両強制排除訓練」

開会挨拶

講評

講評

講評

講評・閉会挨拶



今年も震度5弱以上の地震が7回起きています。いつまた起こるか分からない。皆さんと協力しながら万に備えていきたい。

加藤多治見砂防国道事務所長



各機関が連携して災害対応に当たることが、市民の信に答えること、その生命財産を守ることに繋がる。

多治見警察署長代理 堀警備課長



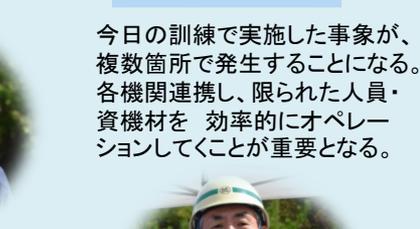
警察との連携は日々実施しているが、道路管理者や民間事業者と合同での訓練の場を設けていただき感謝している。各機関顔の見える関係を築き、訓練を継続していくことが重要。

加藤多治見市消防長



中部電力単独での訓練は日々実施しているが、このような官民連携での訓練を実施していただき大変ありがたい。

中部電力パワーグリッド(株) 池田多治見営業所長



今日の訓練で実施した事象が、複数箇所で発生することになる。各機関連携し、限られた人員・資機材を効率的にオペレーションしていただくことが重要となる。

東濃・木曽防災対策協議会 鳴海代表理事



東濃・木曽地域の16社で組織している。今回、訓練に協力していただいた皆様に感謝。
小野多治見土木事務所長